



かわら版



- 鼓動 世界に貢献できる青少年の育成
NPO法人石川県海外青年交流協議会 理事長 清水 修造
- 平成29年度青少年ボランティア賞
- 第14回加賀地区健康クラブ普及育成研修会
- ふるさとづくり推進事業実施報告
- 美しい石川を歩く
- 健民運動活動紹介
- 健民運動カレンダー・参加しましょう
- 薫風 子ども会交歓フェスティバル
石川県子ども会連合会 会長 正木 明
- 「あいむ」だより

毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～

鼓 動

NPO法人 石川県海外青年交流協議会
理事長 清水 修造

世界に貢献できる青少年の育成

1981年、青年会議所石川ブロックの議長をしていた縁で、「青年の翼ヨーロッパ」研修に参加しました。当時の中西知事は、「若者は海外で勉強し、1つでも地元のために努力貢献してほしい」と話していらっしゃいました。当時を振り返り、石川県海外青年交流協議会（以降、海青協）で活動をするきっかけとなった体験を基に、海青協の活動をお話しします。



エッフェル塔の前で

青年海外協力隊員（JICA）である金沢のH君から、タイ国は多くのコメを収穫できるが、未開発の土地が沢山あり、もっと労働の場を増やし生産性を高めるために、グラント10個分ほどのタイ国の土地を買ってほしいと懇願されました。

早速、農協支所メンバー10名と現地を視察し、青々と育っている稲に圧倒され、H君の思いに応えることにしました。

H君は、タイ国から輸出できるようなコメ作りに試行錯誤しながら、次々と農地を増やし、現地の生活が少しでも潤うようにと励んでいました。途上国で活発な奉仕活動を行い、地域の発展と安定した経済力、自己の自立のために奮闘する姿を見て、少しでも力になりたいと思ったものです。

そこで、海青協では「ボランティア育成コース」と「フレンドシップコース」を企画して、若者を海外に派遣し、農業研修やセメント工場などの視察、現地の人たちとの多文化共生交流会を実施しました。こうした活動を通して、国際的視野を身につけた若きボランティアリーダーの育成に努めてまいりました。

しかしながら、ここ数年は残念なことに、若者の応募が減り、また、世界の社会状況が変化したりで海外派遣は実施されておりません。

海青協も今年で発足してから42年目となりましたが、この事業を再興し、地域社会の発展と青少年の健全育成に努め、世界に貢献できる青少年を育ててまいりたいと思います。



ボランティア育成コース事業



フレンドシップコース事業

◇ 平成29年度青少年ボランティア賞

11月20日（月）に県行政庁舎特別会議室で、平成29年度「青少年ボランティア賞」の表彰式が行われました。今年度は、13団体と2個人が受賞し、当日は本部長谷本正憲県知事が表彰状を授与しました。

各団体・個人は、清掃活動による環境美化や福祉施設への協力、地域行事への積極的な参加、地域に役立つ作品作り、学校を訪問しての衛生指導、被災地支援のための募金活動など、地域や学校における様々な取組を行い、他の模範となるべき素晴らしい活動を実践しています。

谷本県知事からは、受賞団体・個人への祝辞が述べられ、さらに「能登半島地震では、倒壊した家屋の下敷きになって死亡した人はゼロだった。地域全体でそれぞれの家の家族情報を共有していたため、安否確認がスムーズに行われた結果だと言われている。地域の絆を強くする皆さんのような活動が大切であるので、今後も継続してほしい」という旨の励ましの言葉がありました。

また、受賞団体・者を代表して、鵜川小学校なかよしクラブが活動内容と今後の抱負を発表しました。

平成7年度から始まったこの賞では、これまでに延べ190団体、46個人が表彰されました。人と人の絆が深まり、お互いが支え合う思いやりのある豊かな社会を築き上げるためにも、地道に社会に貢献する、青少年のボランティアの輪の一層の広がりが期待されています。



【受賞団体・者代表の言葉】

本日は、私たち15の団体と個人を表彰していただき、ありがとうございます。谷本知事様から直接お褒めのお言葉をいただき、感激でいっぱいです。受賞者を代表して、お礼申し上げます。

私たち「鵜川小学校なかよしクラブ」は、学校の近くにあるグループホーム「なかよし」や「七見ディサービス」で慰問活動を行ってきました。今年で13年になる活動で、地域のお年寄りに喜んでもらっています。お年寄りの皆さんといっしょに歌ったり、プレゼントをあげたりすると、皆さん本当にうれしそうな笑顔を見せてくれます。その笑顔を見ていると、私たちも本当に楽しく、うれしくなります。

ほんの小さな活動ですが、地域の皆さんのために喜んでもらえることを考えて、それを実行し、地域に役立つことができ、かえって、私たちが地域に育てられているのかもしれない。福祉施設の訪問だけでなく、通学路のゴミ拾い活動も行い、地域に役立つ活動を続けていきたいと思えます。そして、子どもからお年寄りまで、みんな



鵜川小学校なかよしクラブ 中田百華さんと東恒太郎さん

で支え合って生活する地域になってほしいと思っています。今回の受賞を励みとして、今日表彰を受けた、中学生や高校生、大学生の皆さんのような活動ができるよう、これからも一生懸命勉強し、地域に貢献できる人になりたいと思えます。

本日は、本当にありがとうございました。

【受賞団体・者とその活動内容】

○羽咋市立邑知小学校環境・安全ボランティア部

邑知小学校環境・安全ボランティア部は、平成7年の開校以来、交通安全への願いと美しい環境を守りたいという思いから、また、地域住民への感謝の気持ちを込めて、最寄りのバス停の清掃活動と小学校前の地下通路の清掃活動を23年間継続して行っている。学校の環境委員会メンバーや路線バス利用者、その他希望者による清掃活動は、地域の環境・安全づくりに貢献している。

○鵜川小学校なかよしクラブ

鵜川小学校なかよしクラブは、地域の人々と交流するため、子ども達が主体的に計画を立てて、各活動を楽しんで実施している。通学路のゴミ拾い活動や保育所訪問のほかに、福祉施設であるグループホーム「なかよし」と「七見ディサービス」で慰問活動を

行っており、地域のお年寄りや子ども達の訪問を毎年楽しみにしており、地域住民との交流を通して、地域の福祉に貢献している。

○加賀市立山代中学校

山代中学校では、地域に密着して自分たちができることを行いたいという思いから、山代地区の観光行事「菖蒲湯祭り」において、生徒のほとんどが参加して、清掃ボランティアを行っている。今年で9年目になるが、年々参加者が増え、生徒の7割近くの約300人が参加している。また、各地の夏祭りでの手伝い、吹奏楽部による演奏、障がいがある人々や独居老人との交流を行っており、地域に大きく貢献している。

○白山市立北星中学校生徒会

北星中学校では、生徒の主体的な活動として生徒会役員が中心となり、10年にわたって郷土の自然環境保全のための海岸清掃活動に取り組んでいる。生徒の9割近くが参加し、進んで奉仕活動に取り組む意識が定着している。また、クリーン作戦は全校生徒が通学路のゴミ拾いを行いながら登校するもので、地域住民から高く評価されており、清掃活動を通して地域に大きく貢献している。

○石川県立金沢北陵高等学校JRC部

金沢北陵高校JRC部は、熊本地震被災地への緊急募金活動など各種募金活動に積極的に参加している。また「金沢北まつり」や清掃活動などの地域行事に参加して地域貢献活動を継続的に実施している。東日本大震災の被災地支援活動や不測の事態に備えた準備活動も行っている。各種団体や地域社会とのつながりも強く、活動は地域住民に喜ばれており、明るく礼儀正しい部員達の活動は、社会に大きく貢献している。

○石川県立羽咋工業高等学校

羽咋工業高校では、美術・デザイン部を中心とした各科・コースの生徒が、地域の要望を受けて数々の作品作りを続けている。ごみ集積ボックスや交通注意看板寄贈、羽咋駅ホーム壁画制作、千里浜なぎさドライブウェイ看板設置、羽咋神社神輿人形「弁財天」制作など、「住み良い地域づくり」や「伝統文化の継承」に貢献する作品作りを継続するとともに、七尾特別支援学校の教育活動にも協力し、地域に大きく貢献している。

○石川県立七尾特別支援学校輪島分校生徒会

七尾特別支援学校輪島分校生徒会は、昨年度まで旧校舎の所在地である輪島市本郷地区で、日頃世話になっている地域住民のために、カーブミラーの清掃や本郷公民館などの清掃と除雪を行ってきた。今年度は門前高校と同居する新校舎に移転し、門前町市街地での清掃活動や総持寺通りの花壇の除草などに取り組んでいる。「自分たちができることをしよう」という思いからの活動は、地域の環境美化に貢献している。

○金沢大学里地里山応援隊

里地里山応援隊は、白山市鶴来地区井口、金沢市河北潟、珠洲市上黒丸地区などの地域に積極的に赴き、地域の住民とともに農作業や祭り、イベントなどに参加して、交流を図っている。また、地域の特産品開発など地域の抱える課題を解決するための協力を行っている。地域課題を理解し解決策を見いだすノウハウの習得に努め、こうした活動を他の学生の間にも広げようとするなど地域に大きな貢献をしている。

○Think about yourself (金沢大学)

Think about yourselfは、日本においてHIV感染者が増加している現実を踏まえて、現在の学校教育を補うために、高等学校に出向いて性に関する知識を正しく教育、指導

している。年齢の近い講師による授業（Peer education）を効果的に行い、高校生に身近に性の問題を知ってもらい、正しい知識を持って性行動の自己決定と自己選択ができるように啓発活動を行っており、若い年齢層の性感染症等の予防に貢献している。

○金沢医科大学ボランティアサークル Heart of Gratis

金沢医科大学ボランティアサークル Heart of Gratisは、内灘町の高齢者や大学町内の住民、障がい者の方々との交流活動を平成23年から継続して行っている。日頃大学で学んでいる医学・看護学の知識を活かして、様々な交流を年間20回以上継続的に行っており、地域の高齢者や障がい者の方々の健康増進、健康不安の解消、生きがいの創出の援助などに大きな貢献をしている。

○スピリッツ

白山市美川地域に居住する高校生で構成されているスピリッツは、年間を通して、多くのボランティア活動を続けている。地域の清掃活動や募金活動、子ども会活動の支援、児童館・児童クラブ行事への協力、障がい者・高齢者との交流など、地域事業や少年育成、福祉事業等に関わるボランティア活動を行い、積極的に社会参加と自己向上を図っている。長年にわたる活動は、地域の環境保全や福祉に貢献している。

○鶴来リーダー委員会「あふぎ」

鶴来リーダー委員会「あふぎ」では、白山市鶴来地区の中高生が、子ども会活動や地区児童館での様々なレクリエーション指導、地区運動会などへのボランティア活動を実施している。子ども会活動の合宿と各地区キャンプではリーダー役を務めている。イベント当日の参加児童の活発な活動のため、月2回の会合で意見交換を行いながら準備を進めており、地域の青少年の健全育成に大きく貢献している。

○総合支援ボランティア団体GRANDE

総合支援ボランティア団体GRANDEは、平成22年より7年にわたり海浜清掃を中心に活動し、内灘海岸の景観・環境の保全に貢献している。地域行事にもボランティアとして参加し、地域住民と交流しながら、精力的に活動を行っている。県内の福祉施設や地域行事におけるボランティア活動にも積極的に取り組んでいる。「次世代の為にできることは何か」を考えながら、地域に貢献する活動を行っている。

○塚本 衣織（金沢市子ども会連合会シニア委員会）

本年までの11年間、金沢市子ども会連合会シニア委員会に所属し、子ども会活動が一層盛んになるよう継続して活動している。金沢市子ども会連合会の3大行事（子ども提灯太鼓行列、グラウンド・ゴルフ大会、金沢市子ども会大会）に積極的に参加し、スタッフとして運営に貢献している。高校生のリーダー委員会にも自主的に参加し、後進の育成に力を入れている。仕事と両立しながら前向きに行動する姿は、子ども達の模範となっており、青少年の健全育成に大きく貢献している。

○小島 笑子（ガールスカウト石川県連盟第7団）

本年までの17年間、ガールスカウト石川県連盟第7団に所属して活動し、団員の育成と団運営の補佐を行っている。ガールスカウト石川県連盟の活動では、県連キャンプにおける指導、国際理解研修における海外の留学生の交流促進、緑の羽根募金における出発式と街頭募金、金沢百万石まつりににおける百万石行列サブスタッフ、「ガラクタの山は宝の山」プロジェクトにおける広報活動など、積極的に協力している。ガールスカウト活動の担い手として期待されており、その活動は青少年の健全育成に大きく貢献している。

◇ 第14回加賀地区健康クラブ普及育成研修会

10月24日（火）に白山市の松任総合運動公園体育館で、16団体182人が参加し、来年度の加賀地区健康クラブ交歓大会に向けての研修を行いました。開会式には山田昭憲市長にご出席いただき、歓迎の言葉をいただきました。

- | | | | | |
|-------|----------|-----------------|----|-----|
| ○開会式 | ・国歌斉唱 | | | |
| | ・開会の挨拶 | 石川県健康クラブ協議会会長 | 田川 | 修身 |
| | ・励ましのことば | 石川県健民運動推進本部本部長 | 谷本 | 正憲 |
| | ・歓迎のことば | 白山市長 | 山田 | 昭憲 |
| ○実技研修 | ・歌唱 | 『若葉』『若いってすばらしい』 | | |
| | ・準備体操 | 『健民さわやか体操』 | | |
| | ・全体踊り | 『若いってすばらしい』 | | |
| ○閉会式 | ・閉会のことば | 白山市スポーツクラブ協議会長 | 喜田 | 羊支子 |

○開会式



山田市長



参加者の皆さん

○歌唱の研修



○準備体操



○踊りの研修



平成30年度「加賀地区健康クラブ交歓大会」の予定
 日時：平成30年5月22日（火）
 会場：松任総合運動公園体育館

◇ ふるさとづくり推進事業実施報告

第44回東陵まつり

- 主催 東陵まつり実行委員会
- 開催日 平成29年9月2日(土)・3日(日)
- 会場 西軽海団地中央公園・校下各町内

第44回東陵まつりは、9月2日(土)から3日(日)にかけて盛大に開催されました。

新しい取り組みとしてのナイアガラの滝花火や小松工業高校生徒によるマーチングバンド演奏、スタジオUNIFY会員児童によるダンスを取り入れました。児童センターすずらんクラブの児童と中学生の競演によるyosakoiおどり、わかばにしかるみこも園々児によるかわいらしい盆踊り、一丁目健脚体操クラブいきいきサロンの皆さんのそろいの法被での輪踊り参加など、盛り上がりを見せてくれました。

6町内会の婦人部の皆さんは、毎晩公民館に集まって小松音頭などを練習し、当日は華やかな浴衣を着て輪踊りを繰り広げました。地域の伝統芸能である子ども太鼓も2つの町内会で実施されました。

今年は金沢大学生8名がインターンシップの一環として、東陵まつりを研究対象として参加し、今後の東陵校下への提言をしてくれました。

新しい取組を加えるなど参加者の拡大を図る工夫を行うことにより、受け継がれてきた地域行事・伝統芸能が活性化し、次世代への継承につながりました。東陵校下の子供から高齢者、男も女も、6町内が一体になっていける、重要なイベントです。今後も継続して、ますます頑張っていかなければならないと思います。(連合町内会長)



珠洲ちよんがり寺子屋塾

能登半島の最先端に位置する珠洲市には、半島の奥ゆえに数多くの民謡が、暮らしの中で生まれ、伝えられてきました。しかしながら、地域社会の変容の中で、伝統行事や作業歌などが急激に失われつつあります。こうした中で、「珠洲ちよんがり寺子屋塾」事業によって、若い後継者を育成する環境を整え、伝統文化の保存と継承を図りました。

○子ども民謡塾の開講

地域の伝統行事や学校田での田植え、金沢民謡華絵巻などの催しに向けて、歌や踊り、作業の練習会を開催しました。歌い手や踊り手として子ども達を指導し、子ども達が大勢の前で演じることができるようになりました。



直小学校での田植唄練習



直小学校学校田での田植作業

○交流会への参加

子ども民謡塾の塾生が、金沢市の前田民謡会寺子屋教室の子ども達と金沢市で交流会を開催し、お互いが民謡の練習状況などについて報告しました。また、金沢百万石まつりに併せて金沢歌劇座で開催される民謡華絵巻に出演し、「田植え唄とちよんがり踊り」を披露しました。他の地域で自分たちの地域の発表をし、子ども達は地域に誇りを持つようになりました。



金沢民謡塾との交流会

○新たな取組

飯田わくわく広場で開催した「ちよんがり踊り」では、飯田小学校の子ども達に郷土民謡への関心を持ってもらうため、歌声を競う子ども競演会の部を新たに設けました。



若山保育所での練習



若山地区でのちよんがり踊り

また、若山庭祭りでは、若山地区に伝わる、櫓を組み基礎石を突き固める「石場がち」唄を若山小学校の男子児童が歌い、それに合わせて女子児童が扇子を持って踊り綱を引く作業を、今回新たに再現しました。

これらの活動を通して、子ども達が地域の伝統文化に誇りを持つようになり、後継者として育ち、伝統文化の保存と継承につながっていくことを願っています。
(珠洲ちよんがり保存会長)

サマーフェスティバルin稚松

- 主催 稚松校下町内会連合会
- 開催日 平成29年8月7日(日)
- 会場 小松市役所前駐車場

○主な取組と成果



少子化の進展に伴い、伝統芸能が衰退傾向にある中、子供獅子保存のために、子供獅子舞及び大獅子舞演舞をメインとして開催しました。市立稚松公民館の生涯学習活動のうち、合唱等サークル紹介を兼ねて伝統文化の掘り起こしを図るとともに校下の小学校、中学校と連携した舞台を構成し、住民の連帯意識の高揚と地域の活性化を図りました。

暑さ対策も兼ねて出演者の舞台と観覧席に大きなドームを設置、音響設備も大幅にグレードアップしたことにより、さらに迫力あるステージにし、稚松の活気を参加者へアピールできました。



約1,500人の参加があり、地域全体で伝統行事を盛り上げ、継承していこうとする意識が高まりました。また、若年層の参加拡大の取組により、伝統文化や行事の継承についての若者の意識を高めることができました。



○その他の取組

稚松小学校PTAによるゴミステーションを開設し、参加者一人一人がゴミを意識し、きれいなサマーフェスティバルを開催することができました。

また、民生委員によるバザーと相談コーナーを設置し、気軽に相談できる環境を提示し、住みやすい街づくりの一環として開催することができました。

地域の商店街・企業とも連携し、衰退する校下の商店活性化のために、大ビンゴ大会を開催し、校下の店で使用できるプレミアム商品券を発行し、商店街の活性化を図りました。(稚松校下町内会連合会長)



◇ 美しい石川を歩く（第8回）

—寺町・小立野寺院群を歩く—

6月に実施し好評を得たコースを、さわやかな秋の季節に再度歩きました。

11月8日（火）は、雨天の天気予報でしたが、雨もなく穏やかなウォーキング日和となり、参加者全員が、六斗の広見、長久寺、波着寺などを経て、宝円寺まで歩き、秋の城下町の風情を楽しみました。



次回は、能登地区のコースを歩く予定です。詳細は新年度になってからお知らせします。皆さんの参加をお待ちしています。

◇ 健民運動活動紹介

平成29年度「子供・若者育成支援のための地域連携推進事業（中央研修大会）」

内閣府主催の中央研修大会が、11月27日・28日の2日間、国立オリンピック記念青少年総合センターで、「子供・若者を孤立から守る」をメインテーマにして開催され、健民運動推進本部関係者からは6名が参加し、研修を受けました。

【研修大会のメインテーマについて】

日本の次世代を担う子供・若者たちの健やかな成長と自立・活躍には、家庭や学校だけでなく、地域社会の中で子供・若者が経験を積み、支えられて成長していくことが大切です。

特に、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子供・若者については、教育、福祉、保健、医療、矯正、更生保護、雇用等の関係機関・団体が連携しながら、それぞれの困難な状況を的確に把握し、地域社会のネットワークを活用した伴走型の支援が重要にな

ります。

一方、子供・若者が困難な状況に陥る前の段階で、あるいは、困難な状況にある場合にはとりわけ、地域社会全体で見守り、支えていくことが、子供・若者が孤立し、問題が複雑化・深刻化することを予防するとともに、立ち直りの視点からも、重要な役割を担っているのではないのでしょうか。

本年度の研修大会はこのような観点から、子供・若者の居場所づくりや自立支援など、関係機関・地域を巻き込んだ支援活動を展開している専門家、実務家の方々を中心に招へいし、基調講演、シンポジウム、専門研修会を設定しています。

本研修を、子供・若者を孤立させず、地域社会全体で支えていく社会の実現に向けて支援に一層取り組んでいく機会にさせていただきたいと思います。(内閣府「中央研修案内」より)

【シンポジウム基調講演】

谷口 仁史 特定非営利活動法人NPOスチューデント・サポート・フェイス代表理事
若者を孤立させない支援の取組～社会全体でつながり、支える視点から～

支援を受けるために出かける交通費もないほど困窮し、また、「相談・支援」に強い不信感を持って孤立している若者には、「来ることを待つ」施設型支援は限界がある。また、本人の環境に入っていくと問題は見えてこない。

アウトリーチ、すなわち、必要な人に支援を届ける訪問支援によって、対象者の声を拾い上げ、本人の興味・関心・価値観のチャンネルに合わせて行う支援が必要である。「若者には再び立ち上がる力がある、どんな境遇の子ども・若者も見捨てない」という思いのもと、関係機関がそれぞれの限界を補うために協働し、継続的・総合的に自立支援を行っていく必要がある。(要旨抜粋)



参加者の皆さん



基調講演

【パネル・ディスカッション】

桑原 宏樹 佐賀県警察本部生活安全部人身安全・少年課次席兼佐賀県少年サポートセンター副センター長

非行少年、被害少年等に対する支援

～佐賀県警察少年サポートセンターの取組～

非行少年に対しては、警察であっても、ただ検挙するだけでなく、話を聴き、問題の背景に立ち入らなければ問題は解決しない。また、その後のフォローも必要である。

子ども・若者の孤立を防ぐため、警察でも子どもの居場所づくりの活動を行っている。(要旨抜粋)

小澤 いぶき NPO法人 PIECES代表理事

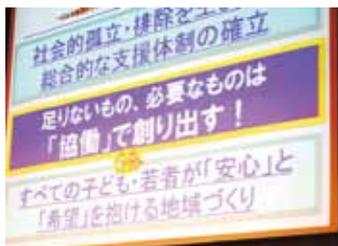
子どもを孤立から守る～コミュニティユースワーカーの取組～

貧困・虐待・不登校・いじめ等で家庭・学校・地域の全てで孤立している場合がある。

「コミュニティユースワーカー」は、行政・地域と連携し、孤立した子ども達に寄り添い、子ども達の声をかき取り支援につなげる伴奏者である。いっしょに遊んだり、ご飯を食べたり、話したりする中で、子ども達に関心を向け、子ども達の奥底にある欲求や願いを拾っている。子ども達と信頼関係を構築し、困りごとや興味・関心を聴き、多様な支援の機会につなげている。(要旨抜粋)



コーディネーター 谷口さん



パネリスト 桑原さん・小澤さん

【専門研修会】

- 1 若者の育ちと自立支援について ～ピアサポーターの視点から～
講師 相川 良子 NPO法人ピアサポートネットしづや理事長
- 2 困難に直面している子供の現状と支援の課題
～貧困対策、スクールソーシャルワークの視点から～
講師 山野 則子 大阪府立大学教授
- 3 非行少年の立ち直り支援の現状と課題
講師 浜井 浩一 龍谷大学法学部教授
- 4 実例から考える、スマホ時代の子どもたちの現状と課題
講師 竹内 和雄 兵庫県立大学環境人間学部准教授

◇ 1月の健民運動カレンダー H29.1 2.20現在

| | |
|------------|--|
| 1 / 28 (日) | 第20回子どもドリームフェスティバル 会場：石川県立音楽堂邦楽ホール（金沢市） 主催：石川県健民運動推進本部 |
| 1 / 14 (日) | 2018新春ゲートボール大会 会場：野々市市さわやかホール、七尾市田鶴浜室内ゲートボール場、中能登町鳥屋室内ゲートボール場 主催：石川県ゲートボール協会 |

□ 参加しましょう！

| | 期日 | 大会名（開催地） | 会場・主管団体等 |
|---------------------------|---------------|---------------------|----------------------------------|
| いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会協賛大会 | 1 / 13 (土) | 卓球バレーボール大会 (金沢市) | 金沢市総合体育館 主催：スポーツコミュニティー金沢南クラブ |

薫風

石川県子ども会連合会
会長 正木 明

子ども会交歓フェスティバル

石川県子ども会連合会は、市町子ども会連合会の石川県における連合体として、各子連の連絡調整を行う団体ですが、唯一の行事として、毎年3月に石川県健民運動推進本部、石川県少年団体協議会と共催で、「石川県子ども会交歓フェスティバル」を開催しています。

この行事は、高校生リーダーが企画・運営し、大学生・社会人のシニアリーダーがバックアップするものであり、平成28年度は、3月4日～5日に国立能登青少年交流の家で開催いたしました。

フェスティバル開催のため、金沢市子ども会連合会リーダー委員会や鶴来リーダー委員会「あふぎ」の高校生、中学生が、12月から何回も打ち合わせ会を開き、2日間のプログラム、各プログラムの担当者を決め、必要な用具の準備をしました。

当日は、参加する小学生の生活指導、プログラムの運営などを高校生リーダーが行い、各班に付いたリーダーとして中学生がお世話をしました。

参加する小学生の中には、受付で班割を見て同じ地区の友達と離れることがつらく、「班を変えてほしい。」という子もいました。でも、2日間を一緒に過ごし、閉会式の後それぞれバスに乗るころには、参加者同士や参加者とリーダーの間で、別れを惜しんで抱き合ったり、

手紙を書くため住所を交換する姿が多く見られます。

子どもたちは、友達を作ることが大変上手です。また、班付きリーダーとなった中学生は、班のメンバーである小学生の面倒を一生懸命にします。このように学校とは別のところで、異なる年齢の子どもと一緒に活動することにより、参加者もリーダーも学校では得られない体験をし、学校の友達とは別の友達を得ることができます。

私たちは、これからも子どもたちの成長のため、それぞれの団体に活動して行きたいと思えます。



『あいむ』だより



収集物（10・11月分）＜使用済み切手など＞

ことぶき 13 期会、金沢市小坂公民館、石川の森づくり推進協会、管財課、市町支援課、
 県民交流課、厚生政策課、長寿社会課、障害保健福祉課、医療対策課、薬事衛生課、
 農業基盤課、水産課、監理課、河川課、金沢県税事務所、計量検定所、農林業公社、
 職員労働組合、匿名の方、の計 20 件 **ご協力ありがとうございました！**



ご提供いただきました使用済み切手、書き損じハガキにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

★皆さんのチラシ、あいむのホームページで紹介しませんか？

～皆さんのチラシをより多くの方に見てもらえるようお手伝いします！～

NPO・ボランティア団体などの、イベント・セミナー・会員募集等のチラシ、会報等をお寄せください。
 ホームページの「チラシコーナー」で、紹介しています。

↓ ～こんな感じで紹介します！～ ↓

| | | | | |
|-------------|-------------------------|---------------------------|--|---|
| 2018年 1月 | 第1週 | 1/5 ○△ 講演会 1/7 ○□ セミナー |  チラシ 縮小画像 |  チラシ 縮小画像 |
| | 1月1日(月) ～ 1月7日(日) | | | |

クリックすると
詳細が確認できる
大きさになります！

あいむで
情報発信！

★パネル展示コーナーで活動を紹介しませんか？

NPO・ボランティア団体の皆さんの活動を紹介するスペース(パネル展示コーナー)をご利用ください。
 「自分たちの活動内容を知ってほしい、見てほしい！」
 という団体がありましたら、お気軽にお申し出ください！

石川県NPO活動支援センター（あいむ）

〒920-0961 金沢市香林坊 2 丁目 4 番 30 号 香林坊ラモーダ7階
 TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559
<http://www.ishikawa-npo.jp>

会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！（会議室使用料無料）

・お問合せ、ご予約はお電話等にてお気軽にどうぞ。

《夜 10 時まで開館(土日は午後 5 時まで)、月曜日は休館》

・香林坊地下駐車場をご利用の場合は駐車料金の一部を助成しています。



毎月7日は「健康の日」です。
～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～



発行：石川県健民運動推進本部

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL 076-225-1366
石川県県民交流課内健民運動推進本部 FAX 076-225-1363

インターネット



QRコード

E-mail kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

 [kenmin_undou](https://twitter.com/kenmin_undou)

Facebook  [@kenminundou](https://www.facebook.com/kenminundou)